



☆真夏の日差しに照らされて☆

長雨の後は照り付ける日差しがどんどん強くなってきています。久しぶりに晴れた日は絶好のプール日和です。登校時、朝から汗びっしょりの子どもたちとの会話「校長先生、今日はプール、ありますか? (入れますか)」「ありますよ😊」「ぜったい?」「ぜったいです😊」「ホントに?」

「ぜったいホントにありますよ😊😊」



【5年生ピアサポート中 教え方が上手!】

前日急に荒天になってプールに入れなかった学年の子。今日はどうしても入りたいみたいです。水に慣れること。浮かび方・泳ぎ方を身に着けること。自分の限界に挑戦すること。たくさんの学びがあります。私が一番気持ちよかったのは、みんなで『ぐるぐる洗濯機』をしてできた大渦の中で水中を潜った時の浮遊感。自分が魚になったみたいにぐんぐん進む感じがとっても気持ちよかったのを思い出します。みんなでプールの真ん中に並び、壁に向かって大波を起こすこともやりました。楽しかった夏の思い出です。昔の先生たちも、なかなかのアイデアをお持ちでした。

楽しいことをした後、しっかり特別メニューがありました。大会に出るための特別練(訓練)です。楽しいだけでは済まされない時代だったように今思います。少し泳げるようになったら低学年のうちから、大きいプールで練習です。大きいお兄さんたちが、真横をビュンビュン泳いでいく中を水中で泣きながらついていかなくてはなりません。『皆さん、涙って水の中でも出るんですよ!』

本当にあった夏の思い出をもう一つ。これは私の教諭時代の話。秦小学校よりも全校児童数がずっと少ない学校でしたが、リレーのメンバーを組んで夏に行われるほとんどの大会に出場することになりました。そのぶん練習もしました。時にはバケツを腰ひもでくくって泳いだり、短水路はノーブレスで泳がせたり……。山あいの学校のプールは静かで、子どもたちが泳ぐときの波音だけが聞こえます。お盆を過ぎても夏休み中ずっと練習しました。ある大会の当日、最後のリレー種目です。県内からたくさんの学校代表が集まった最終組。わがチームの第4泳者の子が、なんとプール中央のコースを先行する他校の子に必死でくらくらいついて泳いできているのです。結果は、その組の3番。感動でした。800人を越える大規模校と同等に競うことのできた彼女らはすごい! 内心ドキドキだったと思います。不安を自信に変える練習をしたこと、そして最後まで全力で頑張る姿が最高に輝いていました。